

8日は、卒園から始めれば、小・中学校のも含めて4回目の卒業ということになるわけだが、今や乃木坂とかテレビのニュースとかからも卒業する人がいるくらいだから、諸君もこれからまだまだたくさん卒業を迎えることになるのかも知れない。かくいう私も今年で一応「卒業」になるわけだが、そうはいつても年金を貰えるようになるまでは完全に卒業するわけにもいかず、「おめでとう」とならないところが悲しい限りである。つまり、学生であることを卒業してしまうと、その後はなかなか卒業できない世界が待っているのである。だから諸君へは「事情が許す限り学生でいなさい」と言いたい。そして「事情が許せばいつでも学生に戻りなさい」と言いたい。「社会人」というのはカッコイイ言葉のように思うかも知れないが、それがミソなのであって、そう見せかけることで君たちを騙そうとしているのである。勿被騙。なるべく社会人などにはならず、学んで（「遊んで」ではない！）暮らすのがよい。しかし、そうはいつてもこの資本制の世の中、いつかはさまざまな事情から社会人にならざるを得ない日がやって来ることだろう。だからこそ、（何度もこのWeに書いてきたが）いつか失われてしまふ時が来ることを認めた上で、それが失われた時に、決して後悔しないでいられるような「今」を生きたことだ。学生としての「今」を精一杯生きることだ。

これが諸君への饞の言葉である。卒業おめでとう。